



第4回中心市街地再構築全体構想町民会議

株式会社 日本総合研究所



1. 前回のワークショップについて

1. 第三回町民会議の議題

- 第三回会議では、前回の議論で皆様から出されたご意見を踏まえ、各班に分かれて以下の2つのテーマについて話し合いました。

【テーマ1】

こども、若者（中学生～40代をイメージ）にとって
居心地のよい場所・必要な場所とは？

【テーマ2】

具体の施設をイメージしたとき、どこで稼ぐのか（誰が何にお金を払うのか）

2. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ1）

- テーマ1について、1班での議論の結果は下記の通りです。
- 学生にとっては若者だけで集まって過ごせる場所やデートで使えるような場所、子育て世代にとっては子供を安全に遊ばせながら母親もくつろげる場所がよいのではないかという意見が出されました。

学生にとって居心地のよい・必要な場所

若者だけで過ごせる（おしゃべりしたり、軽食を取ったりできる）場所や、デートできるようなおしゃれな場所がよいのではないかという意見でした。

- 若者だけのダベりの場
 - 学生限定のフロア／ルーム
- } 大人の目に触れない場所
- 難しい大人がいない
 - 遊ぶきっかけがある
 - 広いスペース
 - スマホができる空間
 - スナックや飲料を食べながら過ごせる空間
 - 昔の純喫茶のような場所
 - おしゃれな場所
 - デートできるような場所

子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所

小さな子どもを安全に遊ばせられるような場所、あるいは母親が心地よく過ごせる場所がよいのではないかという意見でした。

- 母親に対するサポートがある
- 子育てなどの相談ができる
- 母親も幼児も遊べるような広場
- 母親がお茶をして、その間子供は安全に遊べるような場所
- オシャレ

2. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ1）

- テーマ1について、2班での議論の結果は下記の通りです。
- 学生にとっては友達同士で集まって過ごせる場所、子育て世代にとっては子供を遊ばせながら親（特に母親）同士で交流できる場所がよいのではないかという意見が出されました。

学生にとって居心地のよい・必要な場所

邪魔されることなく、友達と過ごすことができる場所がよいのではないかとの意見でした。

- 友達と過ごすことができる
- 体を動かすことができる（運動・筋トレ等）
- 風呂・図書館・喫茶スペース（邪魔されず過ごすことができる）

子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所

屋内で子供を遊ばせつつ、親（特に母親）同士で交流したり、情報交換したりできる場所がよいのではないかとの意見がありました。

- 屋内でも遊べる
- 子供を遊ばせつつ、親同士が交流できる
- ママカフェ（交流・情報交換の場）

2. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ1）

- ・ テーマ1について、3班での議論の結果は下記の通りです。
- ・ 小学校低学年であれば体を動かしたり特別な体験ができたりする場所、高校生であればたまり場になるような場所、子育て世代であれば子供と親の双方が楽しく過ごせる場所がよいのではないかという意見が出されました。

学生にとって居心地のよい・必要な場所

高校生はたまり場、小学校低学年は体を動かして遊べる場所や特別な体験ができる場所があるとよいという意見がありました。

【主に高校生を想定】

- たまり場（屋内）
 - 甘いものが食べられるとよいのではないか
 - 駄菓子屋さんなど、お金を使う体験ができると楽しいのではないか

【主に小学校低学年を想定】

- 体を動かして遊べるなど、普段たまっているエネルギーを発散できる場所（アスレチックなど）
- いつもはできない体験（職業体験など）ができる場所

子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所

子どもと親の両方が楽しく過ごせる場所がよいのではないかという意見がありました。

- 子供が行きたがるような場所
- 子供を預けて安全に遊ばせながら、親も楽しく過ごせるような場所
 - 買い物やおしゃべりができる
 - 相談員がいる
 - コミュニティスペースのようなところ
 - 大人はお風呂、子供はプールで遊べるような、2つの機能が一体になった施設
- 小さい子を持つ親同士のコミュニティづくりができる場所
- 銭湯は多世代が集まり、子供がマナーを学べるような場所なのでよい

3. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ2）

- テーマ1について、4班での議論の結果は下記の通りです。
- 学生にとっては友達同士で集まって自由な活動ができる場所、子育て世代にとっては子供を遊ばせながら親同士もゆっくりしたり、話したりできる場所がよいのではないかという意見が出されました。

学生にとって居心地のよい・必要な場所

友達と集まって自由に過ごせる（飲食、勉強、イベント、運動など）場所がよいのではないかという意見が出されました。

- スターバックスやミスタードーナツのような飲食店
- 勉強ができる
- 友達と集まれる
- 自由な活動
- 学習室
- フリースペース
- イベントスペース
- 運動ができる場所
- Wi-Fiが使える

子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所

子供を遊ばせることができ、かつ親同士もゆっくりしたり、話したりできるような場所がよいという意見がありました。

- 中標津の道立ゆめの森公園（屋内遊具等が充実）のような場所
- 情報交換
- 室内遊具室
- 小スペースの広場
- 談話室
- 親同士で話せる場
- 小さい子を遊ばせて母親がゆっくりする

3. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ2）

- ・ テーマ2について、1班での議論の結果は下記の通りです。
- ・ 基本的には利用者が都度料金を払うべきだが、町民は割引価格で利用できるようにしてはどうか、子供は安価／無料で利用できるようにしてはどうかとのご意見でした。

誰がお金を払うのか？

利用者がお金を払うべきだが、町民は割引価格でいいのではないか、子供は安価／無料で利用できるようにしてはどうかとのご意見がありました。

- 子供は無料または小遣いの範囲
- 回数券等の発行（大人）
- 食事等は利用者個々
- 親（自己払い）
- すべての利用者
- 使用する人
- 町民（格安、町民価格、年会費制で1万円払えば使い放題にするなど）
- 町民外（道内外観光客やインバウンド）



何にお金を払うのか？

利用できる機能すべてについてお金を払うべきとの意見がありました。一部時間料金制としてはどうか、子供については検討が必要ではないかとの意見もありました。

- 入浴、食事（飲料）、施設的なものすべて
- フィットネス・ゲーム代
- 利用できる施設すべて
- 個別機能の中心にリラックスできるフロア等のスペースを設置し、時間料金制としてはどうか（個別機能は単一料金設定としてもよい）
- 子供をどうするかは要検討

3. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ2）

- テーマ2について、2班での議論の結果は下記の通りです。
- ジム・風呂・飲食等について料金を徴収すべきとのご意見でした。また、町民からも料金を徴収すべきではあるものの、稼ぐことのメインは町外の人ではないかと意見が出されました。

誰がお金を払うのか？

各機能について町民もお金を払うべきであるものの、稼ぐことのメインは町外の人ではないかとのご意見がありました。

- 稼ぐことのメインは町外の人（風呂や飲食等）
- 風呂や飲食等は町民もお金を払うべき
- 運動施設は子供・学生無料（または少額負担とする）



何にお金を払うのか？

ジムや風呂について、町内の学生等に配慮しつつ料金を徴収すべきとのご意見でした。

- ジム（町内の学生は無料）
- 風呂

3. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ2）

- ・ テーマ2について、3班での議論の結果は下記の通りです。
- ・ 利用者全員がお金を払うものの、町民や子供・学生は安価に利用できるようにしてはどうかとのご意見でした。また、お金を払う部分とそうでない部分を区別してはどうかとのご意見がありました。

誰がお金を払うのか？

「使った人が利用料を払う」という考えをとりつつも、町民は割安に利用できるようにしてはどうかとのご意見でした。

- 町民かどうかにかかわらず、利用した人が施設利用料を払うという考え方をする
 - 子供よりは親から徴収すべき
 - 学生については飲食代程度は負担してもらってはどうか
- ただし、町民には回数券やパスポートを発行するなど、割安に利用できるようにしてはどうか



何にお金を払うのか？

お金を払う部分とはならない部分を区別してはどうかとのご意見がありました。

- お金を使うところと使わないところを区別する
 - 施設に入ること自体についてはお金を取らないなど
- 各機能の利用料（風呂やプールの入場料等）
- 飲食代
- フリースペースがある場合は、イベントで貸し切る場合は有料としてはどうか
 - イベント主催者は参加料を徴収してよい
- 施設の維持管理ができる程度の収入は必要だが、観光客がお金を使うのは道の駅周辺ではないか

3. 第三回町民会議のふりかえり（テーマ2）

- テーマ2について、4班での議論の結果は下記の通りです。
- 将来に負担を残さないため、町民からも含めて料金を支払うべきとのご意見でした。また、施設の維持費を確保する観点から、飲食・施設利用・イベント参加費等を徴収すべきとの意見が出されました。

誰がお金を払うのか？

将来に負担を残さないため、町民も含めて料金を払うべきとのご意見でした。

- 町民プラスアルファ
- 近隣市町村の方
- 将来に負担を残さない



何にお金を払うのか？

施設の維持費を確保するため、飲食・施設利用・イベント参加費等をとるべきであるとのご意見が出されました。

- 飲食
- 施設使用料（スペースなど）
- イベント参加費
- 施設維持費を確保する
- 図書の購入費は確保すべき

4. 第三回町民会議のまとめ（テーマ1）

- ・ テーマ1について各班での検討結果は以下の通り。

【テーマ1】 こども、若者にとって居心地のよい場所・必要な場所とは？		
グループ	学生にとって居心地のよい・必要な場所	子育て世代にとって居心地のよい・必要な場所
1 班	・ 若者だけで過ごせる（おしゃべり、軽食を取る等） 場所 ・ デートできるようなおしゃれな場所がいい	・ 小さな子どもを安全に遊ばせられるような場所 ・ 母親が心地よく過ごせる場所
2 班	・ 友達と過ごすことができる場所 ・ 風呂、図書館、喫茶スペース、運動できる場所など	・ 屋内で子供を遊ばせつつ、親（特に母親）同士で交流したり、情報交換したりできる場所
3 班	・ 高校生はたまり場 ・ 小学校低学年は体を動かして遊べる場所や特別な体験ができる場所	・ 子供が行きたがり、かつ親も楽しく過ごせたり、互いに交流できたりする場所
4 班	・ 友達と集まって自由に過ごせる（飲食、勉強、イベント、運動など） 場所	・ 子供を遊ばせることができ、かつ親同士もゆっくりしたり、話したりできるような場所

- ・ 学生にとって居心地がいいのは、若者だけで集まって自由に過ごせる（おしゃべり、軽食、勉強、運動、イベント等） 場所
- ・ 子育て世代にとって居心地がいいのは、子供を安全に遊ばせることができ、かつ親（特に母親）同士でもくつろいだり交流したりできる場所

4. 第三回町民会議のまとめ（テーマ2）

- ・テーマ2について各班での検討結果は以下の通り。

【テーマ2】 具体の施設をイメージしたとき、どこで稼ぐのか（誰が何にお金を払うのか）		
グループ	誰がお金を払うのか？	誰がお金を払うのか？
1 班	・ 利用者がお金を払うべき ・ 町民は割引価格でいいのではないか、子供は安価／無料で利用できるようにしてはどうか	・ 利用できる機能すべてについてお金を払うべき ・ 子供については検討が必要
2 班	・ 町民もお金を払うべきだが、稼ぐことのメインは町外の人 ・ 運動施設は子供・学生無料	・ ジムや風呂について、町内の学生等に配慮しつつ料金を徴収すべき
3 班	・ 「使った人が利用料を払う」という考えをとりつつも、町民は割安に利用できるようにしてはどうか ・ 学生については配慮すべき	・ お金を払う部分と払わない部分を区別してはどうか ・ 入場自体は無料としつつ、各機能の利用や飲食、イベント時のスペース貸切については料金を払うなど
4 班	・ 将来に負担を残さないため、町民も含めて料金を払うべき	・ 施設の維持費は確保すべき ・ 飲食・施設利用・イベント参加費等を徴収する

- ・ 利用者全員がお金を払うべきだが、町民（特に子供・学生）は安価に利用できるようにする
- ・ 町外からの利用者や観光客からの収益も重要。
- ・ 施設の維持管理費用を確保するため、各機能（風呂・プール・ジム等）の利用料や飲食代等を徴収する。ただ、一部無料で利用できる部分があってもよい。

2. 本日のワークショップについて

1. 全6回の会議内容

- 全6回の会議内容は以下のとおり。

会議	ワークショップの内容	事務局からの情報提供
第一回	弟子屈町をどんな街にしたいか。そのためには中心市街地をどんな場所にしたいか。	－
第二回	どんな人に来て欲しいか。誰がどんな活動をしていると良いか。 (Who)	平成30年度庁内検討結果
第三回	その人たちが訪れ、時間を過ごし、活動をするためには、どんな機能やサービスが必要か。(What)	町民アンケート結果、公共施設の現状
第四回	機能やサービスのイメージを具体化。(What)	第三回で挙げられた機能の事例紹介
第五回	機能やサービスのイメージを具体化。(What)	第四回の結果を踏まえた施設イメージ案
第六回	まとめ	

2. 第四回町民会議の議題

- 第四回町民会議では具体的な施設イメージを協議していただきます。

【第四回町民会議のワークショップ議題】

いままで協議してきた

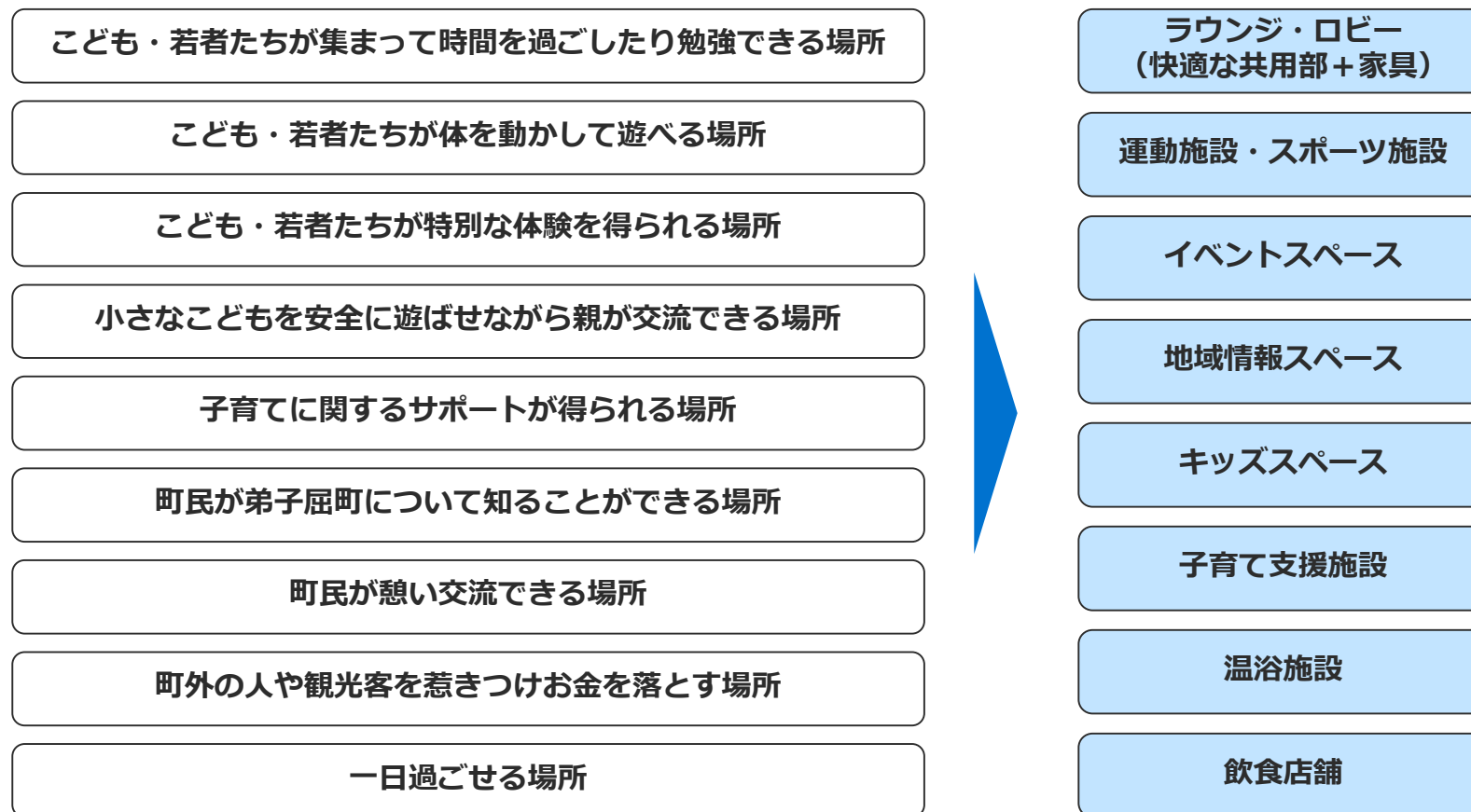
「町の将来像」「中心市街地の将来像」
「来てもらいたい人」「なされているとよい活動」
「こども・若者・子育て世代にとって居心地のよい場所」
「お金の使われ方」

をふまえ、

具体的な施設イメージを考える

3. 町民会議を踏まえた想定機能

- 第三回までの町民会議を踏まえると以下のような機能が想定されます。



4. 町として建替え・集約化を検討している施設

- 町として建替え・集約化を検討している公共施設は以下の3施設です。
- 前ページの各機能とも相関があると考えられます。



5. 公共施設の課題

- 以下のような課題が生じています。

施設	現状・課題	対応策
泉の湯	- 利用者が多い（約20,000人／年）、町民利用者が主 - 大人の回数券利用者が半数を占める、こども・若者の利用は少ない - 経営状況がよい（約200万円の赤字）	- 経営状況はさらなる改善を目指す - こども・若者にも利用してもらい、摩周温泉の良さを知ってもらう - 町民だけではなく、観光客にも情報発信し、利用を促す
川湯温水プール	- 利用者は約10,000人／年 - 利用者層が限定的（少年団等） - 約8割が利用料免除で利用している - 経営状況が悪い（職員人件費含まず約2,000万円の赤字） - 学校授業で利用（年間数日）	- 経営状況の改善を目指す - 利用者数の増加、利用者層の拡大 - 児童生徒のプール需要は引き続き満たす
弟子屈町図書館	- 利用者は約9,000人／年 - 規模が小さく狭隘化が著しい - 正職員の人件費を含まず、約1,500万円/年の赤字 40代～60代の利用が多い - 民間企業の土地建物を賃借	- 狭隘化を解消する - 利用者数の増加を図る（利用料は発生しないため赤字解消は困難） - こども・若者・子育て世代の利用者数増加を図る



3. 参考事例

(各施設のイメージ・可能性の幅を広げるための事例紹介)

※著作権の関係により割愛



4. ワークショップのテーマ

今回のワークショップの目的

- ・ 第四回町民会議では具体的な施設イメージを協議していただきます。

【第四回町民会議のワークショップ議題】

いままで協議してきた

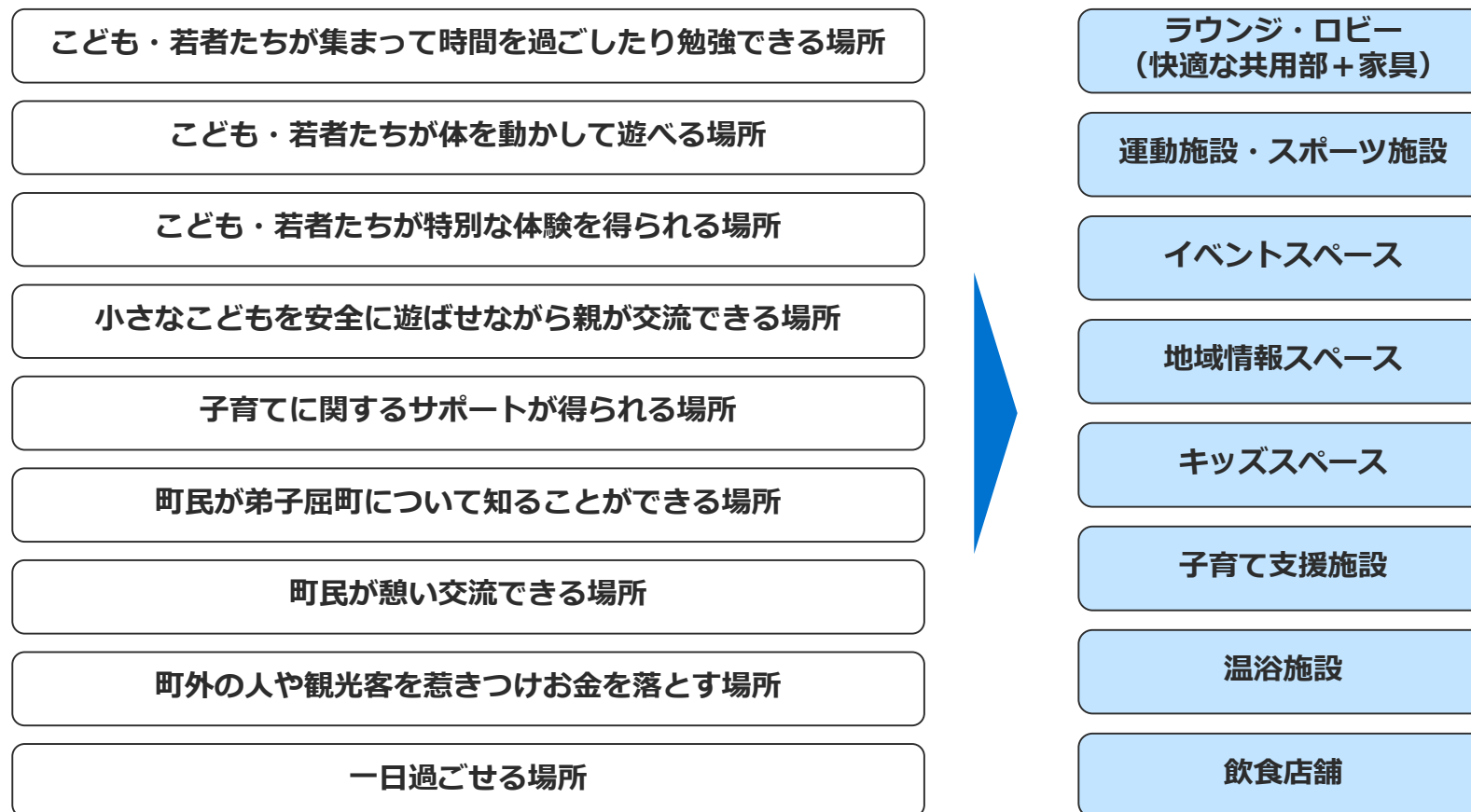
「町の将来像」「中心市街地の将来像」
「来てもらいたい人」「なされているとよい活動」
「こども・若者・子育て世代にとって居心地のよい場所」
「お金の使われ方」

をふまえ、

具体的な施設イメージを考える

テーマ1：前回までの町民会議を踏まえた機能

- 以下の機能の他に追加すべき機能、特に注力すべき機能についてご協議ください。



テーマ2：3つの公共施設を踏まえた機能

- 公共施設の現況、町民会議の結果、参考事例を踏まえると、例えば以下のような方向性が考えられます。
- 具体的にどのような方針で施設整備を行うべきか、ご協議ください。

